



2025年5月19日(月)

余市養護学校しりべし学園分校

文責：研究部 高橋

第1号

昨年度に引き続き、今年度もしりべし学園分校の課題や実情に応じた研究ができるよう、分校単独での研究を推進していきます。今回の研究だよりでは、4月23日(水)に行われた第1回校内研究会を振り返り、今年度の研究のテーマや方向性について触れていきます。昨年度同様、先生方のご協力を得る機会が増えると思いますので、よろしくお願いします。研究だよりについては、年5回の発行を目指しております。

前年度の研究の振り返り

昨年度の重点教育目標は「児童生徒の心情に寄り添い、子どもが実感するキャリア発達を促す教育を推進する」研究主題は「授業づくりを核とした、児童生徒の心情に寄り添った指導・支援の充実 ～研究授業や研究協議を通して指導や支援の効果を実感できる取り組みを目指して～」でした。

それに向けて教職員一人一人のキャリアアップと専門性の向上を目指す「校内研修」と研修等の知見がどのように授業づくりに生かされたのかを検証する「校内研究」とを連動させながら、研究授業や授業反省を通してそれらの成果を共有し、重点教育目標の達成につながる取組を推進しました。

令和6年度 研究主題

授業づくりを核とした、

児童生徒の心情に寄り添った指導・支援の充実

～研究授業や研究協議を通して指導や支援の効果を実感できる取り組みを目指して～

校内研修

- ・ICTの利活用の仕方
- ・心情に寄り添う指導
- ・授業づくり

連動

研究授業・協議

- ・ICTを活用した実践
- ・心情に寄り添った自立活動

- 個人のICT活用能力が向上
- 授業づくりにICT活用の視点が加わった
- その他研修を生かした授業づくりが行われた

- ▲実態や発達段階に応じた適切なICTの利活用
- ▲子どもの特性を理解した対応

的確な実態把握

ICT ミニ研修を通して、keynote などの実践的な使い方を学び、個人の ICT 活用能力が高まりました。そして、それらを活用して授業づくりに新たな視点を加えたり、その他の研修を生かした授業づくりを行ったりすることができました。一方、実態や発達段階に応じた適切な ICT の活用と子どもの特性を理解した対応に課題が見られるなど、的確な実態把握の必要性を再認識することができました。

前年度の校内研修の様子



今年度の研究について

2カ年主題

「教師一人一人が知的障害教育への専門性を高め、チームとして質の高い教職員集団を目指す。」

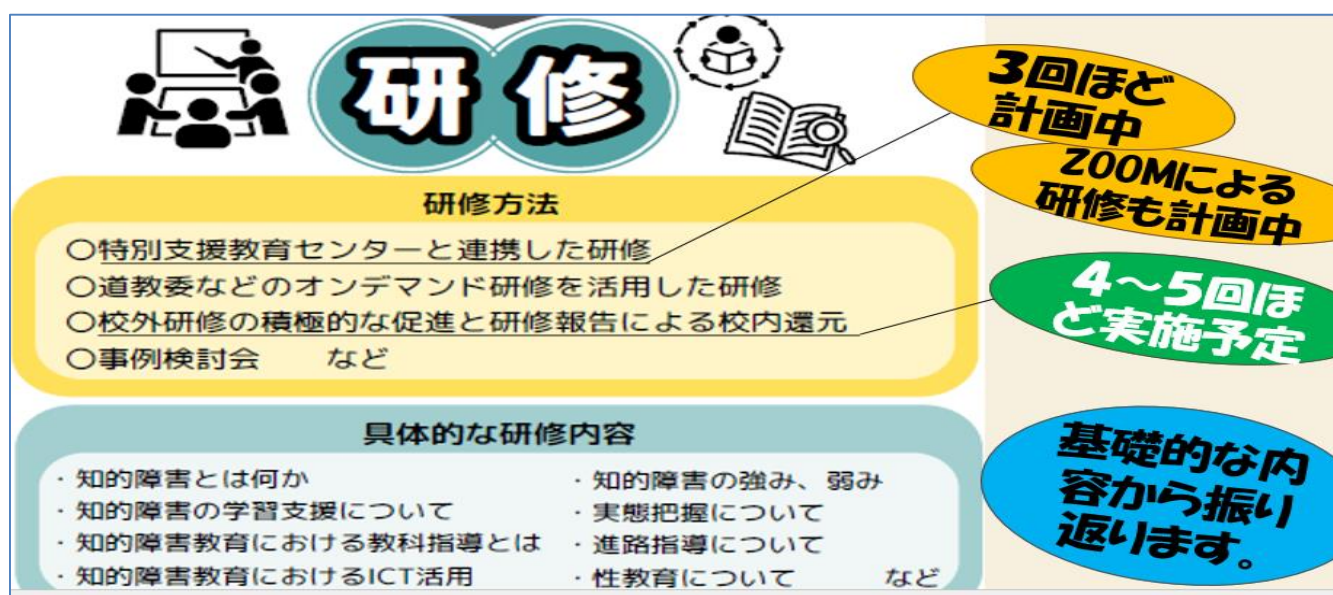
令和7年度副題

「知的障害教育への専門性を高めるための研修の充実」

次年度副題

「知的障害教育の専門性に基づいた指導・支援による子ども主体の授業づくり（仮）」

今年度の重点教育目標は「知的障害教育に基づく児童生徒一人一人への適切な指導、支援」となっています。グランドデザインにも「専門性の高い教員集団」、「専門性に基づく質の高い教育」という言葉が示されていることから、今年度のキーワードは「知的教育の専門性」になります。また、この3年間で本校はベテラン層の職員が多く入れ替わり、経験年数の浅い職員が半数を占めている現状があります。1対1の授業形態では主観が入ってしまい、客観的な視点からの授業改善や実態把握は経験の浅い職員には難しい面があります。生徒の実態に応じて適切に支援し、生活・学習指導をしていくために、まずは職員一人一人が「確かな専門的知識」を身に付けることが大切だと考えました。そこで今年度の研究では、校内と校外両方の研修を充実させ、知的障害教育の専門性を高める1年としたいと考えています。



今後の研究について

現段階で確定しているもののみです。他は随時連絡します。

4月23日	本日「生徒の実態情報共有」	9月10日	「学習指導要領ZOOM研修1」
5月21日	「特別支援教育」とは	10月29日	「学習指導要領ZOOM研修2」
6月25日	「知的障害教育」とは	11月26日	「知的障害を有する児童、生徒への生徒指導、進路指導」
7月25日	「アセスメントの基礎」	1月19日	「知的障害支援学校の実践例」
8月19日	特別支援教育センター来校	2月18日	まとめ

1年間、どうぞよろしくお願いします！